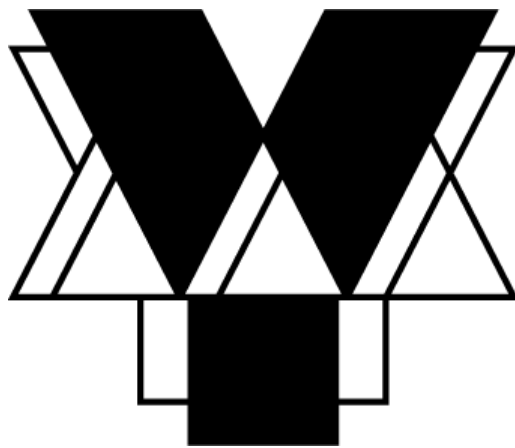


平成31年度

# 事業計画書



2019年（平成31年）3月

公益財団法人 横浜市体育協会

## 【 目 次 】

I 事業方針 .....	1
II 事業計画 .....	2
1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】.....	2
2 生涯スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】.....	4
3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】.....	5
4 障害者スポーツ等支援事業【定款第4条第1項第5号】.....	7
5 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】.....	8
6 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】.....	9
7 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】.....	10
8 スポーツ団体等育成事業【定款第4条第1項第1号】.....	15
9 協会運営事業【定款第4条第1項第6号】.....	16

# I 事業方針

## 横浜とスポーツ、新たな時代へ

まもなく「ラグビーワールドカップ 2019™」が開幕し、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」も翌年に控え、世界のトップアスリートの熱戦が横浜で繰り広げられます。その熱気と感動は横浜の魅力とともに世界に発信され、横浜がさらに光り輝くことが期待されます。

また 2019 年は横浜市体育協会が創立 90 周年を迎える年でもあります。

その一方で横浜の人口は 2019 年をピークに減少し、高齢化も進み、「超高齢」「人口減少」の時代を迎えます。そして様々な課題が顕在化してくるとも予想され、2020 年前後は「新たな時代への大きな転換点」なのかもしれません。

私たちには、時代の変化を的確に捉え、問題・課題に積極的に挑んでいくこと、環境の変化に応じ、これまでの経験を活かしながらも、考え方や行動を、柔軟に変化できることが求められています。「脱皮できない蛇は滅びる」とも言われます。このようなことから第 4 期中期計画のキーワードを「チャレンジ&チェンジ」としました。2019 年は、その 2 年目となります。

ところで横浜市のスポーツ推進計画（中間見直し 2018.3）では、スポーツに期待される効果として、①「子どもの健全育成」、②「子どもの体力向上」、③「健康づくり」、④「医療・介護費削減」、⑤「共生社会の実現」、⑥「地域コミュニティの活性化」、⑦「市民活力の創出」、⑧「地域経済の活性化」があげられています。市民の期待に応えるため、関係者のご理解・ご協力とともに、職員一人ひとりが、時代の変化に気づき、「知恵」「経験」を活かした取り組みが必須になっています。そして何よりも熱い「思い」こそが、「スポーツ・ソーシャル・エンタープライズ」としての横浜市体育協会の素晴らしい 100 年を創っていく原動力になります。まさにわれわれにとっての持続可能な S D G s（国連総会で採択された持続可能な世界を実現するため、2030 年までに達成すべき目標）でもあります。

これまでの施設運営やスポーツ事業で蓄積したノウハウを活かし、「ラグビーワールドカップ 2019™」、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の機運醸成と大会成功の一翼を担い、さらに、その熱気をパワーに、これまでの取り組みに加え、障害者スポーツや企業向け健康経営支援事業にも力をいれてまいります。そして当協会の基本理念である「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」のため、これからも、加盟の 74 団体はじめ多くの皆様と力を合わせ、横浜のスポーツの更なる発展に向け全力を尽くしてまいります。

## Ⅱ 事業計画

### 1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

#### (1) 競技スポーツ助成事業

加盟競技団体や加盟地域団体等が主管する各競技会・大会等の活動に対して必要な支援・助成を行い、市民が競技スポーツを始めるきっかけづくりと、継続への取組を行います。

##### ア 第16回都市間交流スポーツ大会

開催地：大阪市  
実技競技数：12 競技  
参加予定人数：300 人

##### イ 市民体育大会

実技競技数：35 競技  
参加予定人数：39,000 人

##### ウ 市民マスターズスポーツ大会

実技競技数：28 競技  
参加予定人数：9,000 人

##### エ 各区交流スポーツ大会

実技競技数：8 競技  
参加予定人数：1,650 人

##### オ 合同強化練習事業

実施事業数：17 競技  
参加予定人数：2,000 人

##### カ ジュニア陸上競技教室

陸上競技の普及・啓発を図ることを目的に、小学生から高校生を対象に、参加者のレベルに合った種目別の練習により、楽しさを理解してもらえるような教室を実施します。

参加予定人数：2,500 人

#### (2) 各種スポーツ競技大会支援事業

競技会・大会の開催を円滑に行うため、大会運営組織への参画等を通して支援活動を行います。

##### ア 2019ITU 世界トライアスロンシリーズ(WTS)/世界パラトライアスロンシリーズ(WPS)横浜大会(世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会)

トライアスロン・パラトライアスロン最高峰の国際大会  
横浜・山下公園をスタート、フィニッシュにした特設コース

① エリートパラの部(トップアスリートの大会)

開 催 日：平成 31 年 5 月 18 日 (土) 開催予定

参加予定人数：70 人

② エリートの部(トップアスリートの大会)

開 催 日：平成 31 年 5 月 18 日 (土) 開催予定

参加予定人数：110 人

③ エイジの部(一般参加の大会)

開 催 日：平成 31 年 5 月 19 日 (日) 開催予定

参加予定人数：1,740 人

イ 第 10 回横浜シーサイドトライアスロン大会(横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会)

開 催 日：平成 31 年 9 月 29 日(日) 開催予定

会 場：横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺コース

参加予定人数：1,000 人

ウ 横浜マラソン 2019(横浜マラソン組織委員会)

開 催 日：平成 31 年 11 月 10 日(日) 開催予定

種 目：フルマラソンほか

会 場：パシフィコ横浜をスタート・フィニッシュの会場とし、市内中心部の観光名所や横浜港の風景を楽しめる横浜ならではのコース

参加予定人数：28,000 人

### (3)スポーツ大会派遣事業

競技会・大会への選手派遣、選手選考に必要な支援・助成をします。

ア 第 74 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会

開 催 日：平成 32 年 2 月 開催予定

会 場：秦野～相模湖

参加予定人数：横浜市選手団 21 人、横浜市走路員 20 人

イ 第 32 回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック)参加選手選考

開 催 日：平成 31 年 11 月 9 日 (土) から 12 日 (火) まで 4 日間

会 場：和歌山県内 (9 市 12 町)

参加予定人数：96 人

### (4)競技選手の個別支援

国体参加選手をはじめ、競技選手に対するメディカルチェック、SPS(スポーツ版人間ドック)・体力測定・スキルチェック、スポーツによる障害の治療、リハビリテーション、予防等を行い、競技スポーツの推進を図ります。

項目	目標数
S P S (スポーツ版人間ドック)	2,940 人
体力測定等 (アスリート事業)	4,500 人
外来・リハビリテーション	88,400 人

## 2 生涯スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

### (1) 地域スポーツ連携事業の実施

#### ア 区体育協会等の地域団体との連携

日頃から区民に密着した活動を行っている区体育協会と連携して、各区のスポーツ振興を支援します。また、スポーツ推進委員や地域のさまざまなスポーツ関連団体などとも連携し、スポーツ活動の活性化に寄与します。

#### イ 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

さまざまな世代の方々が、身近な地域で気軽にいろいろなスポーツが楽しめる環境づくりを目指し、「総合型地域スポーツクラブ」を育成・支援します。

参加予定人数：400,000 人

#### ウ ヨコハマさわやかスポーツの普及

市民一人ひとりが体力や興味に応じてスポーツ活動を楽しみ、健康体力づくりの維持増進を図っていくために、いつでも気軽にできるさわやかスポーツの普及・振興をすすめます。また、障害の有無等に関わらずすべての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことができるように、引き続きパラリンピック種目である「ボッチャ」を取り入れます。

参加予定人数：285,000 人

#### エ 横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催

10月の体育の日を中心に、各区スポーツセンター、市内野外活動施設及び大規模施設等において、市民が気軽に各種スポーツに参加できる「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2019」を開催します。

会 場：市内36か所

参加予定人数：50,000 人

### (2) スポーツイベントの実施

スポーツの普及振興を図るため、各種スポーツイベントを開催します。

#### ア ダンスフィットネスヨコハマ

開 催 日：平成31年5月5日(日)

会 場：パシフィコ横浜国立大ホール

参加予定人数：4,500 人

#### イ YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ

開催日：平成 31 年 7 月 27 日(土)、28 日(日)、8 月 3 日(土)、4 日(日)  
種目：ビーチバレー、ビーチサッカー、ビーチハンドボール、ビーチテニス  
会場：海の公園ビーチ（横浜市金沢区）  
参加予定人数：8,000 人

#### ウ YOKOHAMA ベイサイドスポーツカーニバル

開催日：平成 31 年 11 月  
内容：横浜のみなとみらい地区を会場として、健康づくりのきっかけとなるウォークや横浜ならではの様々なスポーツイベントを開催します。  
参加予定人数：2,000 人

#### エ よこはまシティウォーク

開催日：平成 32 年 3 月 20 日（金・祝）  
種目：ウォーキング（5km・10km・20km・30km コース）  
トップアスリート（オリンピック）による各種スポーツ教室  
スタート及びゴール：横浜文化体育館  
参加予定人数：3,500 人

### 3 健康・体力づくり事業【定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 3 号】

#### (1) 子どもの体力向上事業

地域のスポーツ団体やボランティア等と協力し、学校などの身近な場所で子どもの体力向上支援事業を実施します。

##### ア 子どもの体力向上支援

体を動かす楽しさを知ること、次世代を担う子ども達が心身ともに健全に発達し、生涯を通じてスポーツに親しめるきっかけづくりとなるよう、児童向けの子どもの体力向上につながる事業を幅広く実施します。

参加予定人数：78,000 人

##### イ はつらつキンダー事業

運動・遊びを通して、幼児期に何事にも積極的に取り組む意欲と、豊かな人間性を育むことを目的とし、生涯にわたって運動・スポーツを楽しむきっかけづくりとします。

参加予定人数：5,500 人

##### ウ スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化をすすめながら、スポーツを通じた青少年の心身の健全な育成と、生涯スポーツの普及・振興を図ります。

参加予定人数：600 人

## エ よこはまこどもマリンスクール

やさしく、強い“はまっ子”を育てることを目的として、横浜市内在住、在学の小学4～6年生を対象に、帆船日本丸や南伊豆臨海学園などの海に隣接する施設を活用し、1年間を通して水泳・カッター操船などの実技、集団生活を通じた自主性・協調性の養成など心身の鍛練を行います。

参加予定人数：176人

## オ 学校支援事業

当協会加盟競技団体やプロスポーツチーム、オリンピック・パラリンピアン等との連携・協力により、児童・生徒のスポーツ活動を支援します。

参加予定人数：5,000人

## (2)健康づくり支援事業

健康寿命の延伸に寄与する事を目的に身近な地域でのスポーツ・健康づくりができる環境を整備するため、以下の事業を実施します。

### ア 健康づくり派遣指導事業

「地域における健康づくり」をキーワードに、①日常的な運動習慣を習得できるプログラムの提供、②地域と協働した健康づくりを主軸として、地域に根差した指導をすすめます。また、横浜市健康福祉局の介護予防関連事業や横浜市老人クラブ連合会のシニア関連事業等と連携・協力し、市民の健康づくりに寄与します。

参加予定人数：24,800人

### イ 健康づくり販売事業

市民における運動・スポーツの日常化を目的に、はまちゃん体操関連商品（CD・テキスト）や介護予防テキスト・ひばりエクササイズ（DVD）のPR・販売を行います。

また、はまちゃん体操DVD映像をリニューアルします。【新規】

### ウ 健康づくりプログラム開発事業

当協会の管理運営施設や、区役所、地域施設、地域団体等が主催する「スポーツ事業」「健康づくり事業」に活用できるような運動プログラムを開発し、運用します。

### エ 健康経営<sup>®</sup>支援事業 ※注

横浜市内企業・団体を対象として、当協会の強みである運動指導やイベント開催等のノウハウを活用した健康経営のサポートとして、従業員の健康に資するプログラム提供を行います。

※注 「健康経営」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です



## 4 障害者スポーツ等支援事業【定款第4条第1項第5号】

### (1)横浜こどもスポーツ基金活用事業

#### ア 助成金の交付

障害のある子ども達の、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、スポーツ観戦を通してスポーツへの関心を高める活動、障害者スポーツアスリートやジュニアアスリートを目指す選手育成の活動、定期的にスポーツ活動に親しめる環境づくりやその活動を支援する人材の育成活動などを実施する、個人や団体に対して、助成金を交付します。

#### イ 障害者アスリートの発掘と育成

障害者アスリートの発掘・育成の方法を検討し、実践していきます。障害者関係団体や学校とのアスリートの情報共有や、指導者や医師などの専門スタッフの確保を行い、発掘から育成まで通した専門的サポートができる体制づくりを目指し、今後活躍が期待できるジュニアの障害者アスリートの活動を支援します。

#### ウ 誰もがスポーツを継続的にできる場の確保

特別支援学校や公共の施設を中心に、障害の有る無しにかかわらず、誰もがスポーツ活動に取り組める場を創出します。

さらに、障害者スポーツに必要な器具や用具、備品の貸与や購入、利用しやすい施設づくりをすすめ活動場所の充実を図ります。

#### エ PR 活動の実践

横浜こどもスポーツ基金の認知度を高めるために、多くの人が集まる大規模スポーツイベントや地域イベントなどで活動の紹介や募金活動を行い、広く市民にPRし、認知度を高めます。

### (2)障害者スポーツ団体等との連携強化

#### ア インクルーシブスポーツ推進事業

ヨコハマさわやかスポーツ普及委員会及び総合型地域スポーツクラブ等の地域で活動している団体と連携し、誰もが身近な地域で共にスポーツに親しむことができる取組を支援します。

また、障害者スポーツの普及・啓発イベントを開催し、スポーツを通じて市民の障害者への理解を深めます。

参加予定人数：2,000人

#### イ 他団体との連携事業

横浜ラポール、横浜ゆるスポーツ協会など関係機関・団体と連携・協力し、スポーツ事業の実施や自主的活動の支援をすすめ、障害者スポーツの推進を図ります。

## 5 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

### (1) 地域スポーツ指導者養成事業の実施

#### ア 横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座の開催

スポーツ及びレクリエーションなどの活動を通じて市民の健康・体力づくりを支援するため、さまざまな講座を開催して地域に根差した指導者を育成します（5講座）。また、各養成講座修了者が登録する「横浜市スポーツ人材活用システム」登録者の指導技術向上のための研修を年4回（12講座）実施します。

講習会名	実施期間	会場	募集定員
健康・体力づくりインストラクター養成講座	6月～10月	スポーツ医科学センター他	40人
地域クラブアシスタントマネージャー養成講座（日本スポーツ協会公認）	7月～8月	当協会地下会議室他	25人
アウトドアリーダー（野外活動指導者）養成講座	5月～11月	市内野外活動センター他	30人
レクリエーションインストラクター養成講座	6月～10月	当協会地下会議室他	40人
スポーツリーダー養成講座（日本スポーツ協会公認）	6月	スポーツ医科学センター	100人
スポーツ人材活用システム登録者研修（12講座）	7月～2月	スポーツ医科学センター他	1講座 30人

#### イ 協会認定指導者育成講座の開催

横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座を修了した地域指導者やすでに地域で活躍している指導者のレベルアップを図る目的で、育成講座を開催します。講座に参加された地域指導者は当協会において認定し、さらなる活躍を目指します。

講習会名	実施予定月	会場	募集定員
介護予防運動指導員養成講座	7月・11月	当協会地下会議室	60人
スポーツリズムトレーニングディフューザー資格取得養成講座（日本スポーツリズムトレーニング協会認定）	8月・12月・2月	当協会地下会議室	60人
障害者・高齢者運動支援プログラム講座【新規】	6月・10月	当協会地下会議室	60人
介護予防ワークショップ	9月・10月・	当協会地下会議室	60人
姿勢改善ワークショップ	9月・11月	当協会地下会議室	60人

#### ウ 地域スポーツ指導者の活動促進

地域における多様なスポーツ活動や、健康の維持増進事業、高齢者の介護予防事業、子どもの体力向上事業など、当協会が行う各種事業に「横浜市スポーツ人材活用システム」登録者を指導者として積極的に登用し、活躍・活動の場を促進します。

## (2)指導者技術向上補助事業の実施

競技スポーツの指導技術、競技技術、審判技術などの向上を目的に、当協会加盟の種目団体が開催する研修会等に、経費の一部を助成します。

参加予定人数：1,200人

## (3)ジュニアスポーツ指導者の養成

### 未来のスポーツリーダー養成事業

将来のスポーツ界を担う人材を育成するため、スポーツ障害予防やスポーツ栄養学などの講義を行います。

参加予定人数：100人

## (4)横浜市スポーツボランティアセンター

『横浜市スポーツボランティアセンター』では、スポーツボランティアの会員募集と登録を行い、ボランティアのスキルアップにつながる研修会等を実施し、市民が積極的・自発的に「ささえるスポーツ」に関われるよう支援を行っていきます。

○主なボランティア活動先（予定）

「2019ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」

「横浜マラソン2019」

「よこはまシティウォーク」

「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル」など

## 6 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】

### (1)スポーツ情報の収集・提供

#### ア スポーツ情報サイト「ハマスポ」の運営・拡充

スポーツ情報サイト「ハマスポ」により、横浜市内の最新のスポーツ・レクリエーション情報を幅広く収集・掲載・提供します。

#### イ スポーツ情報誌「SPORTSよこはま」の発行

生涯スポーツの普及・振興や横浜に拠点を置くプロスポーツチームの応援、市民の健康づくりの普及・振興を図るため、「横浜」と「スポーツ・健康」をキーワードとし、スポーツへの興味・関心の喚起や健康意識の向上につながる情報を発信します。また、横浜の推奨するスポーツ施策を紹介し、それを担う横浜市体育協会の各種事業を積極的にPRします。

発行：隔月6回（1号あたり30,000部、16ページ）

#### ◆掲載内容

時節や流行に則した特集記事の掲載、市内プロスポーツチームの選手や関連イベントの紹介  
スポーツ医科学センターによる健康関連情報の掲載、著名人のインタビュー、  
地域スポーツ活動や生涯スポーツへの取り組みの紹介、市体協関連イベントの紹介や報告等

## (2)スポーツに関する調査研究

市民スポーツ意識調査等のスポーツに関係した調査・研究を通じ、横浜市スポーツ推進計画等で掲げられている、運動・スポーツの実施率や取組等について、横浜市における現状を把握します。

また、市民の運動・スポーツに対する様々なニーズや行動・意識を考察し、その結果を当協会が取り組む各種事業に反映させます。

## (3)スポーツ医科学に関する情報の収集・提供及び調査研究

スポーツ医科学に関する情報の収集を行い「スポーツ医科学センターホームページ」「ハマスポ」、「SPORTSよこはま」を通じ市民の皆様に発信していきます。

また、横浜市スポーツ医科学センターでは、ホームページや学会等を通じて、スポーツ障害と予防等の研究及び研究の成果を発表し、多くの市民の方々が安全で効果的にスポーツ活動を行えるよう情報発信していきます。

# 7 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】

## (1)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場の提供

以下の施設の安全・安心な管理・運営を通して、市民にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場を提供します。

### ア 指定管理施設の管理運営

#### ○横浜市スポーツセンター（16施設）

- ・横浜市鶴見スポーツセンター
- ・横浜市西スポーツセンター
- ・横浜市南スポーツセンター
- ・横浜市保土ヶ谷スポーツセンター
- ・横浜市磯子スポーツセンター
- ・横浜市緑スポーツセンター
- ・横浜市戸塚スポーツセンター
- ・横浜市泉スポーツセンター
- ・横浜市神奈川スポーツセンター
- ・横浜市中スポーツセンター
- ・横浜市港南スポーツセンター
- ・横浜市旭スポーツセンター
- ・横浜市金沢スポーツセンター
- ・横浜市都筑スポーツセンター
- ・横浜市栄スポーツセンター
- ・横浜市瀬谷スポーツセンター

#### ○横浜市栄公会堂

#### ○横浜国際プール

#### ○横浜文化体育館

#### ○横浜市平沼記念体育館

#### ○横浜市青少年野外活動センター（3施設）

- ・横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター
- ・横浜市くろがね青少年野外活動センター
- ・横浜市こども自然公園青少年野外活動センター

- 横浜市少年自然の家（2施設）
  - ・横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園
  - ・横浜市少年自然の家赤城林間学園
- 新横浜公園/日産スタジアム
- 三ツ沢公園
- 横浜市スポーツ医科学センター

#### イ その他のスポーツ施設の管理運営

- 横浜プールセンター
- 栄プール
- テニスガーデン（3施設）
  - ・根岸テニスガーデン
  - ・緑テニスガーデン
  - ・泉中央テニスガーデン
- 横浜市鶴見川漕艇場
- たきがしら会館
- 横浜銀行アイスアリーナ

### (2) スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる機会の提供

横浜市から指定を受けたスポーツ施設やスポーツ医科学施設及びその他の施設において、誰でも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる各種プログラムを提供します。

#### ア 指定管理施設

##### 横浜市スポーツセンター

スポーツセンター16館（港北区及び青葉区を除く）において、区民が身近なところで気軽にスポーツを楽しみ、健康の維持増進が図れるよう施設運営に努めます。

そのため、トレーニング室や卓球・バドミントン等の個人利用、横浜市市民利用施設予約システムへの登録・予約による各種スポーツの団体利用、また小さなお子様からご高齢の方を対象とした各種スポーツ教室、イベント等を開催することでスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

なお、平成31年度は、4つのスポーツセンターで横浜市が特定つり天井改修工事等を予定しています。施設により、一部若しくは全館閉館を予定しています。

（予定施設：神奈川スポーツセンター、西スポーツセンター、旭スポーツセンター、戸塚スポーツセンター）

### 横浜国際プール

4年目を迎えた国内最高峰のプロバスケット「Bリーグ」の横浜ビー・コルセアーズのホームゲーム24試合のほか、2019ジャパンパラ水泳競技大会などの大規模大会を予定しています。また、英国オリンピック代表選手団（水泳競技）の事前キャンプ地として、2020年の利用が決定しておりますが、2019年も事前キャンプを実施することが決定し、2020年の本番と併せて準備をすすめます。また、プール・アリーナ・テニスコート等では、多種多様なスポーツ・文化教室を開催するなど、スポーツ・レクリエーション活動を推進し、多くの市民に親しまれる施設として、スポーツの振興や健康づくりに貢献する施設運営をすすめます。

### 横浜文化体育館

卓球国際大会「LION ITTF・ATTUアジアカップ横浜2019」など各種目協会の国際及び全日本レベルの大会から地域や学校の運動会まで多様なスポーツ大会を開催します。また、各種集会・式典、コンサート等の文化的な催し物も開催し、横浜市のスポーツや文化の振興に寄与する施設運営を目指します。

### 横浜武道館(新・横浜文化体育館サブアリーナ)

2020年7月末の横浜武道館オープンに向けて、(株)YOKOHAMA文体の各企業や横浜市と調整を図りながら、管理運営に関する基準やルールなどを定める等、準備をすすめます。

### 横浜市平沼記念体育館

2018-2019シーズンから日本フットサルリーグディビジョン2（F2リーグ）に加入するY.S.C.C.横浜（横浜スポーツ&カルチャークラブ）がホームコートとして利用し、2019-2020シーズンも7試合を行います。また、スポーツ大会等の利用促進や市民に親しんでいただける施設運営をすすめます。

### 横浜市青少年野外活動センター

3施設それぞれの特長を活かした野外活動体験を通じ、青少年の健全育成を推進するだけでなく、子どもから大人までを対象に、利用ニーズにあわせた施設運営を行います。また、防災を共通テーマとした「もしもの体験キャンプ」を各施設で実施します。

### 横浜市少年自然の家

海や山などの恵まれた自然環境を活かした自然体験プログラムや宿泊体験の場を提供し、集団活動の体験等を通じた青少年の健全育成を図るほか、施設の特性を活かした自主事業の実施やイベントの誘致により、多くのお客様に親しまれる施設運営を行います。

第4期指定管理5年間の初年度となります。

## 新横浜公園/日産スタジアム等

ラグビーワールドカップ 2019™の当該年であり、東京 2020 オリンピックサッカー競技開催の前年であることから、利用スケジュール調整等を関係各所との緊密な連携により、両大会を成功裏に導きます。両大会開催時における公園利用者の皆様への影響を考慮し、市内最大の運動公園が持つポテンシャルを最大限に活用したプログラムを企画・実施することにより、大会機運醸成や当公園の認知度向上を図ります。また、スポーツのみならず、生物多様性配慮しながらも、公園の豊かな自然環境を活かしたイベントを町内会や学校をはじめとする地域の方々との連携により展開します。

### ○管理施設

- ・日産スタジアム(日本陸上競技連盟公認 第1種公認陸上競技場)
- ・日産フィールド小机(日本陸上競技連盟公認 第3種公認陸上競技場)
- ・日産ウォーターパーク(温水利用型の健康増進施設)
- ・北側園地運動施設(野球場、第1・2運動広場、球技場、投てき練習場、テニスコート)
- ・新横浜公園内無料施設(スケボー広場、インラインスケート広場1・2、バスケットボール広場、壁打ちテニスコート、草地広場、遊具広場)
- ・しんよこフットボールパーク
- ・ドッグラン(登録制)

## 三ツ沢公園

新横浜公園(日産スタジアム)との一体管理により、Jリーグ等の開催に加え、サッカーやラグビーの国際大会の大会誘致・実施をすすめます。また、市民に身近な歴史ある運動公園として、スポーツを通じて園内の賑わいづくりや四季を感じながら気軽に体を動かすことができる機会の提供と運動施設の利用促進を図ります。

特に日産スタジアムで開催されるラグビーワールドカップ 2019™及び東京 2020 オリンピックサッカー競技の影響により、ニッパツ三ツ沢球技場の利用ニーズの増加が見込まれます。利用されるすべての皆様に満足いただけるよう、円滑な利用調整を図ります。

### ○管理施設

- ・ニッパツ三ツ沢球技場
- ・三ツ沢陸上競技場(日本陸上競技連盟公認 第2種公認陸上競技場)
- ・三ツ沢補助陸上競技場
- ・馬術練習場

### 横浜市スポーツ医科学センター

市民の健康づくりの推進・スポーツの振興・競技選手の競技力の向上を目的に、クリニック、アリーナ（体育館）、プール、トレーニングルーム等を併設した施設の運営を行います。

- スポーツプログラムサービス（SPS…スポーツ版人間ドック）
- クリニック（内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科）
- メディカルエクササイズコース（MEC…運動療法）
- トレーニングルーム・25m 室内温水プールの個人利用
- 研修室・会議室、大・小アリーナの貸出事業
- スポーツ教室事業（体操・水泳等）
- 健康教室事業（親子リトミック・太極拳・フラダンス等）、イベント事業
- アスリート事業（アスリート測定等）

## イ その他のスポーツ施設

### 屋外・屋内プール

安全・安心・快適に利用していただくために、日々の安全管理の徹底に努めるとともに、気軽に参加できる水泳教室やイベントなどを開催し、多くの市民の方々に愛着をもって利用していただける施設運営を行います。

### テニスガーデン

テニススクールの開催や貸しコート運営を行い、市民に対してテニスをはじめとするスポーツ活動の場を提供します。

### 横浜市鶴見川漕艇場

ボート・カヌーの利用、貸出し等の管理運営を行い、初心者等を対象とした教室を開催して水上スポーツ・レクリエーションの普及・振興に寄与します。

### たきがしら会館

プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の練習場としての利用に供するとともに、近隣の地域住民や団体、企業などの利用を促進します。



## 横浜銀行アイスアリーナ

国際規格を満たすスケートリンク施設の運営を通じて、一般滑走時間の提供や各種教室・イベント事業などを展開することで、多くの皆様にアイススケートを中心とした各種スポーツに親しんでいただけるようにします。

また、フィギュアスケート選手の育成に注力し、より一層のアイススケートの需要喚起、及び当リンクへの注目度を高めていきます。

## 8 スポーツ団体等育成事業【定款第4条第1項第1号】

### (1) スポーツ団体育成事業

#### ア 交流事業

横浜市でのスポーツの分野で活躍・功労のあった方々及びスポーツ関係者との交流促進のため、「第54回新春横浜スポーツ人の集い」を開催します。

開催日：平成32年1月24日（金）開催予定

会場：①表彰：パシフィコ横浜 アネックスホール（予定）

②賀詞交換会：横浜文化体育館（予定）

参加予定人数：1,300人

#### イ スポーツ表彰事業

体育・スポーツの進歩発展及び価値ある研究調査をなした者や各種スポーツ大会において、顕著な成績をおさめた個人・団体やスポーツ振興に寄与した個人を表彰する横浜スポーツ表彰を実施します。また、教育委員会表彰等の各種表彰への推薦を行います。

参加予定人数：500人

#### ウ 協力町村来浜事業

少年自然の家が設置されている昭和村（群馬県）及び南伊豆町（静岡県）の小学校児童を対象に、横浜への理解を深めてもらうことを目的とした教育施設協力町村児童受入れ事業を実施します。

参加予定人数：143人（2町村での参加者合計数）

#### エ プロスポーツ連携

横浜市内のプロスポーツ4チームが行うイベントへの協力や広報PRなど、各チームとの連携により、市民へのスポーツの普及振興を図る事業を実施します。

## 9 協会運営事業【定款第4条第1項第6号】

### (1) 中期計画

2018年度から2020年度までの中間年度となります。四半期ごとに全体で振り返り及び進捗確認を行いながら、達成に向けたアクションを行います。

#### 【中期計画目標及び2019年度の成果指標】

	目 標	成果指標
1	地域や加盟団体等とのつながりを活かした事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者数：126千人以上</li> <li>・参加加盟団体数：130団体以上</li> <li>・障害者参加事業数：70事業以上</li> <li>・地域支援エリア充足率：拡充</li> </ul>
2	スポーツ・健康産業へのチャレンジによる収益源の多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度までに新たな収益事業を確立</li> </ul>
3	管理施設の確実な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事項の達成率：2020年度に100%</li> <li>・事業参加者数：2,008千人以上</li> </ul>
4	次期指定管理事業への関わり方の再検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決定プロセスを明確化し、次期応募施設を決定</li> </ul>
5	ラグビーワールドカップ2019™・東京2020オリンピック・パラリンピック大会成功への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業数：44事業以上</li> </ul>
6	事業変革に対応できる人材育成と安定的な財務体質の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員満足度：2020年度に3.3P以上</li> <li>・流動比率：163.4%以上</li> <li>・自己資本比率：50.1%以上</li> </ul>

### (2) 横浜市との協約

2018年度に、2018年度から3か年の横浜市との協約を策定しました。横浜市の協約マネジメントサイクルに沿って、目標達成に向けた取り組みを進めます。

#### 【協約目標】

	目 標	2019年度目標数値
1	身近な場所でスポーツに親しむ機会（する・ささえる）を提供し、スポーツに関わる市民を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者数：3,065千人以上</li> </ul>
2	事業活動収入に対する補助金収入の比率を10%未満に維持します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金割合：10%未満</li> </ul>
3	専門性の高い人材を養成するとともに、職員のモチベーション向上、組織の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成検討会を設置</li> <li>・スポーツ系専門資格取得者述べ130人以上</li> </ul>

### (3)危機管理体制の取組

市民が安全・安心・快適に施設を利用できるように、各施設の点検や職員に対する指導・研修を実施し、日常の危機管理体制の基礎を整えます。

また、日産スタジアムや横浜国際プール、横浜文化体育館における大規模イベントの開催にあたっては、特に主催者、関係機関との連携を徹底して危機管理体制を強化します。

### (4)社会的責任に対する取組

#### ア 個人情報保護マネジメントシステム運用業務

プライバシーマーク（Pマーク）付与事業者として、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）を引き続き維持・運用し、個人情報の保護を推進します。

#### イ 内部・外部監査業務

公益認定の条件である、情報開示の適正性を証明するため、また、公益法人会計基準(平成 20 年基準) への対応を正確かつ適正に行うため外部監査業務を専門家に委託して実施するとともに、内部統制機能を高めるため内部監査業務を実施します。

#### ウ 持続可能な開発目標(SDGs)の推進

持続可能な開発目標（SDGs (Sustainable Development Goals)）」を意識し、各種事業に取り組みます。

#### エ 職場の活性化

職員一人ひとりが、能力を最大限に発揮し、心身ともに健康でいきいきと働くことができる職場環境の構築を目指し、引き続き健康経営の取組と研修等を通じた人材育成を行います。

### (5)賛助会員事業

協会の理念やそれに基づくさまざまな事業を、市民や企業に広くアピールし、その活動に賛同を得ることで、賛助会費や協賛金として自主財源の確保を目指します。

### (6)広報PR事業

新聞等の媒体を活用した体育協会のPRや、協会ホームページによる管理運営施設や各種事業の案内、また、ディスクロージャーの観点から事業計画書や事業報告書等、協会が保有する情報の公開に努めます。

### (7)専門委員会及び連絡協議会との連携

協会の事業を推進するために必要な専門委員会及び連絡協議会を設置し、加盟団体から選出された委員と連携し、協議・調整・調査及び研究を行います。

#### ア 専門委員会

- ・ 総務委員会
- ・ 競技委員会
- ・ 市民スポーツ委員会

#### イ 連絡協議会

- ・ 加盟団体代表者会議
- ・ 区体協代表者会議

### (8) 創立 90 周年及び創立 100 周年記念事業の準備活動

平成 31(2019)年の創立 90 周年を記念し「創立 90 周年記念式典」の開催や協会内外における記念事業の実施、協会名称の変更に向けた準備等とともに、平成 41 (2029)年の創立 100 周年を見据えた準備もあわせてすすめていきます。

#### 創立 90 周年記念式典

開 催 日：平成 31 年 11 月 22 日（金）開催予定

会 場：ロイヤルホールヨコハマ（予定）

参加予定人数：600 人

### (9) 基金の運用

#### 横浜こどもスポーツ基金の運用

寄付を原資として、障害のある子ども、恵まれない環境の子ども達等へ、横浜のスポーツを通じて、支援・援助することを目的に「横浜こどもスポーツ基金」を運用します。また、ホームページによる啓発・事業報告等を実施していきます。

### (10) 駐車場の運営

#### 新横浜駐車場の運営

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場の運営を行います。

## 加 盟 団 体 一 覧

### ◆競技団体(52 団体)

横浜野球協会	横浜市ソフトボール協会	横浜市カヌー協会
横浜野球連盟	横浜市体操協会	横浜市ゲートボール連合
横浜市テニス協会	横浜市ホッケー協会	NPO 横浜市ボート協会
NPO 横浜ソフトテニス協会	横浜市バドミントン協会	横浜市太極拳協会
一般社団法人横浜水泳協会	横浜バスケットボール協会	横浜市少林寺拳法連盟
横浜市卓球協会	NPO 横浜市馬術協会	横浜市ゴルフ協会
横浜市弓道協会	横浜市剣道連盟	横浜アイスホッケー連盟
一般社団法人横浜サッカー協会	横浜市アマチュアボクシング協会	横浜市インディアカ協会
横浜市ラグビーフットボール協会	横浜市レスリング協会	横浜市綱引連盟
横浜市陸上競技協会	横浜市クレール射撃協会	横浜市ダンススポーツ連盟
横浜市相撲連盟	横浜市ライフル射撃協会	横浜市合気道連盟
横浜ハンドボール協会	横浜市ウェイトリフティング協会	横浜市スポーツチャンバラ協会
横浜市山岳協会	横浜市なぎなた連盟	横浜市日本拳法連盟
横浜スキー協会	横浜市アーチェリー協会	横浜市バトン協会
横浜バレーボール協会	横浜市ボウリング協会	横浜市トライアスロン協会
横浜市柔道協会	横浜市空手道連盟	横浜市パワーリフティング協会
横浜市ヨット連盟	横浜アメリカンフットボール協会	横浜市グラウンド・ゴルフ協会
横浜市ターゲット・ハートゴルフ協会		

### ◆学校団体(3 団体)

横浜市立小学校体育研究会	横浜市立中学校体育連盟	横浜地区高等学校体育連盟
--------------	-------------	--------------

### ◆地域団体(18 団体)

鶴見区体育協会	保土ヶ谷区体育協会	青葉区体育協会
神奈川区体育協会	旭区体育協会	都筑区体育協会
西区体育協会	磯子区体育協会	戸塚区体育協会
中区体育協会	金沢区体育協会	栄区体育協会
南区体育協会	港北区体育協会	泉区体育協会
港南区体育協会	緑区体育協会	瀬谷区体育協会

### ◆体育団体(1 団体)

横浜市レクリエーション連合 (構成団体)		
・横浜市フォークダンス協会	・日本ターゲットボール協会	・横浜市グループワーク・トレーニング協会
・横浜市民踊協会	・横浜市ペタンク協会	・横浜市スクエアダンス連絡協議会
・横浜レディース卓球連盟	・横浜レク・フラダンス市民の会	・よこはまレクリエーションの会
・横浜市オリエンテリングリーダークラブ	・横浜市健康太極拳の会	・横浜市レクハーモニカの会明日葉
・横浜市レクリーダー協議会	・日本サーチウオーク協会	・横浜市シルバー体操・レクリエーション指導者連盟



# YOKOHAMA 2019

## MARATHON 横浜マラソン

A colorful graphic of a wave or mountain peak composed of many small dots in various colors (blue, green, yellow, red, black) on a white background.

公益財団法人横浜市体育協会  
〒231-0015  
横浜市中区尾上町6丁目81番地  
ニッセイ横浜尾上町ビル内  
TEL 045-640-0011(代表)  
FAX 045-640-0021